

第1回 庁舎建設 100人市民会議まとめ

各グループのまとめについては、当日の市民の意見を各グループのファシリテーター(進行役)の筑波大学の学生が整理し、全体のまとめは、筑波大学の小場瀬が担当し書いたものである。

■全体のまとめ 第1回庁舎建設 100人市民会議 筑波大学 小場瀬令二

5月9日(日)に80名あまりの方が参集していただき、13:00から16:30ぐらいまで熱心に議論をいただいた。

市長も参加していただき、議論の中に入っていたこともあり、充実した内容であった。その時の議論も踏まえて以下のように整理した。

1. 新庁舎建設の是非

- 新庁舎建設について絶対反対といった意見はあまりなかった(市民の中で絶対反対という方は、このワークショップ(庁舎建設100人市民会議)に参加しなかったためと思われる)
- ただ建設する以上は、財政負担が極力少なくなる工夫をすることが絶対条件とあってよいだろう
- 新庁舎と居住地との距離が遠くなることから、交通弱者対策が必要である。
- ただすでに役所としては交通弱者対策にかなりの財政負担をしており、財政負担を増やさない方向でこの問題を解決する必要がある。
- 東庁舎を分庁舎として残す件については、特に賛否の意見はあまりなかった。
- 新庁舎建設には莫大な財政負担がかかることから、新庁舎を建設することによりどの程度人件費が減り、行政の効率化がはかれるのか、市民に提示する必要がある。

2. 既存校舎を再利用しながらの新庁舎建設

- 建設費を削減するために既存校舎の再利用については賛意が多く、C案を推奨する市民が多かった。
- ただ、既存校舎の利用が20年後、30年後に財政負担が重たくなならないように十分な検討が必要であり、何が何でも全部既存校舎を再利用すればよいということではなくて、将来のメンテナンスを見え透いた検討が必要である。

3. 新庁舎の備えるべき仕様

- 分かりやすさ→総合受付方式か、わかりやすいサイン
- 来庁市民が職員に声をかけやすい庁舎（職員がPCの方ばかり見ている＝仕事をしているということさが）
- 広い駐車場
- バリアフリー。広くてきれいなトイレ。ウォシュレットトイレか
- 広い会議室
- 外国人への対応
- 庁内オンライン化
- 育児スペース
- 省エネ、エコな庁舎
- 喫煙対策
- 食堂→利用者がどの程度いるか。既存の施設を利用できるか
- 商工会議所などの行政と連携を取り合っている団体への部屋の借床

4. 既存庁舎の将来

この利活用についてはあまり多く意見は出なかったが、散発的に以下のアイデアがでた。ただ取り壊して売却という考えもかなりあり、今後のワークショップ（庁舎建設100人市民会議）で議論していくべき課題だろう。

4-1. 庁舎共通

- コミュニティ施設、コミュニティビジネスの拠点（工房、不用品交換所）

4-2. 江戸崎庁舎の再利用

- 市営住宅
- 花火見物の場所

4-3. 新利根庁舎の再利用

- ふれあいセンター（保険施設）は残してほしい
- グラウンドを活かす。緑地
- 物流拠点（インターに近い）

4-4. 桜川庁舎の再利用

- エコ産業
- 図書館に利用

4-5. 東庁舎の再利用

- 道の駅
- 東京の自治体と姉妹協定を結び、生徒が宿泊できるように
- 東京の病院と提携して健康トレーニング
- 企業誘致ができるとうい

既存4庁舎については引き続きアイデアを練る必要があるだろう。

■Aグループ■第1回庁舎建設100人市民会議まとめ

ファシリテーター（進行役）：【筑波大学】潮田、楊

1. ワークショップ（協議）の流れ

A班では、「今後の庁舎のあり方について」という視点から自由に意見を出していただくこととした。

「(1)既存4庁舎の利用について」と「(2)新庁舎の建設の方向性」という2つのテーマに意見が集中した。

2. まとめ（意見の整理 [KJ法]）

(1)既存4庁舎の利活用について

利活用の手法についてと、利活用に際しての課題や要望が出た。

◎利活用への意見

- 既存4庁舎のリニューアルはできないのか
- 既存の体育館をコンバートしては
- 既存庁舎を見直し、活用してサービスの充実を図るべき

◎利活用への課題

- 交通面で不便がある
- インフラの整備が必要ではないか
- 新利根や江戸崎の庁舎は老朽化している
- 既存庁舎や施設を見直すべき
- 周辺との連携が重要

(2)新庁舎の建設について

「効率的な庁舎が望ましい」という基本的な要望を中心に、幅広い意見が寄せられた。大別すると、「1. コストの削減に関する議論」、「2. 市庁舎建設の手法や計画」、「3. 建築される庁舎に関する具体的な内容・要望」の3つに分類されるようであった。

1. コストに関して

《コスト削減への賛同》（とにかく安く）

- 提示された3案よりも低くしてほしい（40億を切るくらい）
- 借金なしに事業が進められるようにしてほしい

《削減案に対する不安・疑問》（本当に経済的・望ましいのはどんな計画か？）

- 既存建物の活用は本当にリーズナブルか？
- 既存校舎の利用は維持コストによって結果的に負担が増えるのでは
- 10年後、20年後を考えた計画が重要
- 利便性が犠牲にならないように

2. 建設計画に関して：B案のように既存の一部を活用しつつ、よりコンパクトにまとめて効率化を望む意見が出された。

- 新庁舎として一つの庁舎にまとめるのは行政サービスや職員の仕事の効率上もいいことだ
- 必要以上の施設はいらぬ

3. 庁舎への要望：具体的な建物の内容について、施設の利便性を中心に意見が出された。

- 十分広い駐車スペースが必要
- 新庁舎への交通手段を確保
- バスの乗り入れができるように
- 議会室は別棟に
- 一棟にまとめて効率的に
- 日当たりのいい屋内環境を
- エコな建物に
- トイレを広くきれいに
- 広いエントランスホール
- 案内をわかりやすいように

(3) その他

《職員・行政サービスについて》

- 職員への苦言
- 合併して不便になった
- 市庁舎が積極的に利用されるように工夫が必要

3. A班ファシリテーターとしての総括

すでに市によって具体的なプランが提示されている事業に対して意見を出す、ということに若干の抵抗がある方も見られるようだった。

より詳細な体系化ができなかった、ファシリテーターとして反省の多い結果となってしまった。今後のワークショップでは、自由な議論を引き出すとともに、稲敷市によりよい具体的な提案として昇華させられるよう、さらに努力したい。

■Bグループ■第1回庁舎建設100人市民会議まとめ

ファシリテーター（進行役）：【筑波大学】賀集、上野、青木(唯)

1. ワークショップ（協議）の流れ

B班では、「(1)今の各庁舎の良い所・悪い所」、「(2)新庁舎建設案の評価・感想」、「(3)既存4庁舎の利活用について」に分けて話し合った。

ただ(1)に関しては前回の会議(庁舎建設懇話会〔平成19年度開催〕)で話されたこともあり、意見は(2)、(3)に集中した。

2. まとめ（意見の整理[KJ法]）

(1)今の各庁舎の良い所・悪い所

◎良い所

- 1階で複数の手続き出来る
- 路線バスが使えて歩行者に便利
- 駐車場が近い
- 江戸崎は市街地の中
- 江戸崎は水辺が近い
- 江戸崎、新利根はイベント開催に便利

◎悪い所

- 分庁舎は不便、移動も大変
- どこもトイレ・通路が分かりにくい
- 江戸崎は狭すぎる

(2)新庁舎建設案の評価・感想

「安ければよい」という意見が大半を占めたため、C案を中心に話が進んだ。ただしC案が評価されたのは金額面だけであり、建物像への意見などはなかった。また建設への疑問の意見もみられた。

◎建設方法

- C案が良い、建設費をできるだけ安く（出席者の半数程度）
- 維持管理費も安くする
- プレハブでも可
- 長年使える建物へ（また合併で取り壊されない）
- 校舎を一部利用する
- 日本一の庁舎にしたい

◎詳細な機能・施設

《建物の内の利便性に関して》

- どこで用事がすむのかが分かりやすく
- ゆとりある窓口と事務室
- 禁煙にする
- 職員用の通路

《欲しい機能・施設》

- 複合施設として、消防署・商工会を入れる
- 一般食堂を入れる
- 広い議会傍聴席

◎交通ネットワーク

- 循環バスを走らせる
- 市民の広い駐車場
- バス、駐車場含めてユニバーサルデザイン等で市民アクセスの向上を

◎建設地・建設案への疑問

- 建設場所の再考が必要
- 建物面積が広すぎる
- 地下部分を一部にして全面地下をやめる
- 3階建てで十分

(3) 既存4庁舎の利活用について

意見は旧庁舎の“利用派”と“取り壊し・売却派”に分かれた。

◎利用派

- コミュニティ活動、コミュニティビジネスの拠点（工房、不用品交換所）にする
- 新庁舎と結ぶ巡回バスのターミナルへ
- 新利根のふれあいセンター（保険施設）は残して欲しい

◎取り壊し派：

- 庁舎は1つで十分
- 新利根庁舎に利用価値なし
- 旧庁舎の敷地を売り、建設費用へ

3. ファシリテーター（進行役）の総括

建設業を営む方が何名かいた為か、B班のワークショップ（協議）は建物に関する意見が多いものとなった。とくにコストを下げることに注目が集まり、C案の支持や新庁舎をもっと小さくしたらどうか、という意見が出た。そのため“C案の内容・質”に関して掘り下げて話されることがなかったのが悔やまれ、次回以降の課題といえるだろう。

また旧庁舎の利用に関しては、コミュニティ施設としての利用の提案があったが具体性に乏しく、むしろ取り壊しや売却をし、新庁舎一本化に期待する意見が、大半ではないが多く出たのも特徴的だと思われる。

■Cグループ■第1回庁舎建設100人市民会議まとめ

ファシリテーター（進行役）：【筑波大学】佐野、高橋、李

1. ワークショップ（協議）の流れ

C班では、「(1)今の各庁舎の良い所・悪い所」、「(2)新庁舎に求めるもの」、「(3)既存4庁舎の利活用について」に分けて話し合った。

2. まとめ（意見の整理[KJ法]）

(1)今の各庁舎の良い所・悪い所

◎良い所

- 新利根は分かりやすく明るい、交通の便が良い。

◎悪い所

- 新利根はトイレ狭く、暗い。駐車場に段差。児童福祉課の場所が分かりにくい。

(2)新庁舎に求めるもの

「お金がかからなければよい」という意見が大半を占めた。建物像への積極的な意見も多くみられた。

◎建設方法

- 建設費をできるだけ安く（出席者の半数程度）。適正な規模で。省エネ、太陽光発電、採光、雨水の有効利用

◎詳細な機能・施設

《建物の内の利便性に関して》

- 明るく・窓口が分かりやすく
- 身障者用のトイレ
- バリアフリー

《欲しい機能・施設》

- 消防署・商工会を入れる
- 一般食堂を入れる
- 広い議会傍聴席・待合室・警察を近くに・コンビニ誘致・コンサートホール・図書館・情報発信の拠点に・芝生でゴルフができるように

◎交通ネットワーク

- コミュニティバスを走らせる

◎建設地・建設案への疑問

- 庁舎は懸賞公募式にして談合を防ぐ

(3)既存4庁舎の利活用について：意見は旧庁舎の“利用派”が多数であった。

◎利用派

- 新利根は交通の便が良いので物流拠点に。
- 桜川はエコ産業。図書館に利用。
- 東庁舎は東京の自治体と姉妹協定を結び、学生が宿泊できるように。企業誘致を。
- 江戸崎庁舎はガラスで、結婚式を開けるように。

3. ファシリテーター（進行役）の総括

C班のワークショップ（協議）は新庁舎にコスト削減を望む声が多く見られたが、新庁舎に求める機能も積極的に提案されていた。

また旧庁舎の利用に関しては、最低限の機能を残し、立地を活かし、新たな使い方を模索する提案が多く出たのも特徴的だと思われる。

■Dグループ■第1回 100人市民会議まとめ

ファシリテーター（進行役）：【筑波大学】細谷、李美花、北野

1. ワークショップ（協議）の流れ

D班では、(1)新庁舎に求めるもの、(2)既存4庁舎の良い所・悪い所、既存4庁舎の利活用、について話し合った。

2. まとめ（意見の整理[KJ法]）

(1)新庁舎に求めるもの

・新庁舎建設事業にあたり

維持管理費を見据えることや新しい市の顔として相応しい計画として、また先進的な事例として評価されるような、機能の優れた建設（新築）を求める意見が多く挙げられた。

一方、現時点で提案されている新庁舎建設案においては、あまり評価していないことが窺える意見がみられた。具体的には、現時点で提示されている建設方式以外の、建設方式を求める意見や、立地場所の再検討の必要性、建設費用の不透明性の指摘、市職員の削減によるスリムな行政への要求を求める意見、単に「A・B・C」方式への評価だけでなく、市政に対しての疑問や事業計画の詳細な説明を求める意見が挙げられた事が特徴的である。

・求める機能・整備

新庁舎に求める機能としては、

- 利用しやすい窓口（24時間窓口、ドライブスルー窓口）
- 良好なアクセス環境（広い駐車場・アクセス道路の整備・巡回バスの整備）
- バリアフリーな計画（エレベーター、エスカレーターの設置・段差の排除・広い化粧室や通路）
- 自然エネルギー活用（太陽光発電）
- おいしい食堂、売店、子供を預ける場所、敷地周辺への他の公共施設の集積 等

以上のような、市民が日常的に利用しやすい環境の整備を求める意見が多く挙げられた。また、窓口に関して、現状に対する不満、新しいアイデアが異なるメンバーから複数出された事が印象的であった。

(2)既存4庁舎の良い所・悪い所、利活用について

《江戸崎庁舎》

◎良い所：●スーパーが近い、2階の会議室が利用しやすい

◎悪い所：●西向きである、2階の廊下が狭い

《新利根庁舎》

◎良い所：●ホールが明るく広い、駐車場が広い。

◎悪い所：●暗い、2階へ上がりにくい。

《桜川庁舎》

◎良い所：●ロビーが明るく広い、桜川展望台・景観が良い。

◎悪い所：●部署案内の必要性。

《東庁舎》

◎良い所：●場所がわかりやすい、2階へ上がりやすい。

◎悪い所：●通路が狭い、段差が多い。

既存4庁舎の利活用について

既存4庁舎の利活用については、古い部分は積極的に壊し、住民課等利用頻度の多い窓口については各地区に残して欲しいとの意見がでた。

また新しい利活用方法として、コミュニティーセンターとしての利用や、各庁舎について以下の意見が挙げられた。

◎江戸崎庁舎：●市営住宅建設、花火見物場所への整備。

◎新利根庁舎：●グラウンドを活かす（緑化など）。

◎東 庁 舎：●道路沿いの立地を活かす（道の駅としての活用）。

3. ファシリテーター（進行役）の総括

D 班では、市庁舎建設案の評価より、そもそも市政の改善や事業計画等の詳細な説明を求める声があがる中、建設に際しては新築を視野に入れた質の高い新庁舎建設を求める意見が多くでた。新庁舎に求める意見としては、普段の庁舎利用の中で実感として不便に感じる点の整備が多く挙げられ。これらから、市庁舎建設資金や、今後の市政の方向性を含めた議論への要望が強いことが分かる。

また今回既存4庁舎の利活用について具体的な利活用用途を含めて多くの意見がだされた。これらの意見を踏まえて第4回ワークショップ（庁舎建設 100 人市民会議）ではより具体的な提案が出されることを期待したい。

また、ファシリテーターからの視点として、今回のワークショップ（庁舎建設 100 人市民会議）は、設計事務所の方や、市の職員の方も議論に参加したが、ワークショップに関する参加意識の差が見受けられたように感じる。設計事務所の方と市民の方は、建設方式の議論の際、意見を交換する（或いは疑問点をプロの方に質問する）場面が見られたが、市の職員の方は、そのような場面は見られなかった。

ファシリテーターとして、今後のワークショップ（庁舎建設 100 人市民会議）を通し市庁舎建設に関わる人々全員が、フラットに議論できる場を作ることができたらと考えている。

■Eグループ■第1回庁舎建設100人市民会議まとめ

ファシリテーター（進行役）：【筑波大学】劉、風間、林、市倉

1. ワークショップ（協議）の流れ

E班では、「(1)今の各庁舎の良い所・悪い所」、「(2)新庁舎に望むもの」について話し合いを行った。

2. まとめ（意見の整理[KJ法]）

(1)今の各庁舎の良い所・悪い所

◎良い所

- 江戸崎は、周りに金融機関があるので便利。立地条件が良い。
- 新利根は、明るく、広々としている。各科、動線、スペースが分かりやすい。職員と市民の駐車場が分かれている。周りに緑がある。
- 桜川は、田園に囲まれている。建物が新しいので分庁舎として活用できる。
- 東は、建物が新しい。国道からすぐ入れる。

◎悪い所

- 建物の老朽化、耐震性に不安。
- トイレが狭い。
- エレベーターがない。
- 駐車場が使いづらい。
- 総合窓口が無い、受付の説明が不十分。
- フロアーが狭い。
- 公民館が有効利用されていない。

(2)新庁舎に望むもの

◎道路、交通

- 道路整備を行い、公共交通機関を十分に作る。

◎駐車場

- 今までの各庁舎の駐車場が狭いところが多く、新庁舎では広くて使いやすい駐車場が必要。

◎設備

- 吹き抜け大ホールや緑の見える中庭がほしい。
- 広くて、高齢者向けのトイレ、ウォシュレットと人感照明をつける。
- 周辺に金融機関やコンビニのサービスがほしい。

◎コスト

- 効率的な人員配置を考え、コストはできる限り抑える一方で、来訪者の立場に立って、安心安全を確保するために必要なところには経費を惜しまず使う。
- 予算配分にメリハリをつける。

◎職員

- これまでの庁舎では職員移動が早すぎるため、慣れない。職員から話しかけるよう努めてほしい。

◎窓口、サービス

- 窓口に案内人を置き、待ち時間を減らす。文化ホールも一緒に建設してほしい。

◎環 境

- 太陽光発電やLED電球等を導入し、地球にやさしい最新のエコシステムを使ってアピールを行う。西高跡地の緑も残したい。

3. ファシリテーター（進行役）の総括

今回の話し合いでは主に新庁舎の要望についての意見を出していただいた。その中では、ハード面として建物の安全性を確保し、明るく広々とした庁舎にしたい。

またソフト面では、窓口に案内係を設け、たらい回しが起こらないようにしなければならないという意見が多かった。

旧庁舎の利用に関しては今後話し合っていく予定です。

■Fグループ■第1回庁舎建設100人市民会議まとめ

ファシリテーター（進行役）：【筑波大学】風間、禧久、王

1. ワークショップ（協議）の流れ

Fグループは最初に各人2～3枚ほど自由に意見を出してもらい、そこから意見を広げて考えをまとめていった。同じような意見も多い中、各人の強い考えを反映した意見も多く見られた。

2. まとめ（意見の整理 [KJ法]）

(1) 市民の使う環境の充実

新しい庁舎において市民が使う施設のサービスをはじめ、市民が接する環境の向上を要望する意見が最も多く出ており、特に誰にでも使いやすい施設と利便性の向上が求められていることが分かった。

《使いやすい施設》

- 分かりやすい窓口
- 分かりやすいサイン
- 来場者の見える構造
- 広い駐車場の設置
- 段差のない床
- バリアフリー空間

《サービスの充実》

- 広い会議室の設置
- 外国人への対応
- 庁舎内オンライン化
- 育児スペースの確保
- マイクロバスのネットワーク

(2) 行政の無駄な費用の削減

建て替えに際しかかる費用を懸念し、現状の無駄や建設にかかる費用の削減を要望する意見も多く出された。これらは市民へのサービス水準を落とす事のないように、行政側の削れる費用を削るものである。

《建物の再利用》

- 西高跡は有効
- 残せる庁舎は使う
- C案に賛成
- 建物は安い方が良い

《職員の削減》

- 無駄な職員は減らす
- 職員の適性化

《省エネ》

- 省エネ対策
- エコな庁舎

(3) 長期的に見たまちの姿に見合った建て替え

建て替えには賛成の意見が多く、庁舎は長期的なまちの理想と現状だけでなく、将来も見据えた財政を考えて建設すべきという意見が出された。

《老朽化の心配》

- 古い建物は撤去すべき
- 老朽化が気になる。

《長期的展望》

- 10年、20年後どのようなまちにしたいのか考えるべき。
- 庁舎だけでなく市全体のこと考えてほしい。

- 人口減に合わせた規模。

《財政との折合い》

- 財政に見合った庁舎にすべき。
- 財政が厳しいなら造らない。

(4)その他

《庁舎の多機能化》

- 庁舎へ商工会を入れる
- 様々な団体の事務所の入舎
- 賃貸を行う。

■まとめ

以上より F グループでは、庁舎は長期的に見た稲敷市の姿に見合った姿にすることが必要と考えた。財政等も考え、行政側の無駄な費用は削減して、全ての市民にとって使いやすい構造とサービスの整った環境を提供することが重要であるとまとまった。

3. ファシリテーター（進行役）の総括

今回、自由に意見を出して頂いたが、具体的な方向性の決まっている案への意見まで発展させることができなかつたため抽象的なまとめとなってしまった。次回はこれを参考にしてさらに内容を昇華させたい。